

2009年9月24日

報道関係者 各位

千葉市科学館 プラネタリウム番組
谷川俊太郎 原案「夜はやさしいTender is the Night」
2009年10月17日(土)より一般公開スタート

千葉市科学館(館長:大高一雄、所在地:千葉県千葉市中央区)は、詩人・谷川俊太郎原案によるプラネタリウム番組「夜はやさしい Tender is the Night」を平成21年10月17日(土)より一般公開いたします。

「夜はやさしい Tender is the Night」は、地球上のさまざまな地域から見える星空とその土地で聞こえる音、そして各地の夜をうたう詩のこぼれを通して、地球の広がりとその中にある自分の存在を感じられるプラネタリウム作品です。

東京の夜空から出発し、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南米、北米、オーストラリアの世界6カ所の夜を旅していきます。それぞれの場所で大自然や人々の喧噪、音楽や鳥獣たちの鳴き声など、同時代でありながらバラエティに富んだ環境音が星空を彩ります。各地をつないでいくのは、本作品の原案者である谷川俊太郎氏による詩。名作「朝のリレー」では、なにげない日常の一コマから鮮やかに地球の自転へと意識を広げてみせた谷川氏が、少年時代から好きだったというプラネタリウムの制作に初挑戦。“夜のコーラージュ”ともいうべき本作品オリジナルの詩やナレーションを書き下ろしました。朗読は、映画を中心に活躍する女優・麻生久美子氏。暗闇の中で星空、音、詩、三つのものが、見る者の想像力をふくらませていきます。

子供から大人まで、いつまでも深く心に残る、まるで一篇の詩のようなプラネタリウム体験にご期待ください。

【番組情報】

公開日:平成21年10月17日(土)より公開

※10月17日・18日は市民の日を記念して無料公開いたします。

観覧には当日配布する入場整理券が必要です。

場 所:千葉市科学館7階 プラネタリウム(定員200名)

原案・詩・ナレーション構成:谷川俊太郎

監 修:毛利衛(日本科学未来館館長・宇宙飛行士)

朗 読:麻生久美子(女優)

フィールド録音・サウンドデザイン:川崎義博

企画・制作:日本科学未来館

制作協力:千葉市科学館

開館時間:午前9時から午後7時※入館は閉館の30分前まで、プラネタリウム最終投影は19時開始

料 金:大人500円、高校生300円、小中学生100円

※団体料金(30名以上)は20%割引(セット券は除く)。

※市内在住の60歳以上の方(証明できるものの提示が必要)、ふれあいパスポート提示の市内在住の小中学生(土曜日のみ)、障害者手帳ご提示の方とお連れの方1名様までは無料。



Photo:Rinko Kawauchi

このリリースに関するお問合せ先:千葉市科学館 事業開発グループ広報担当 片山

電話:043-308-0514 webinfo.kagakukanQ.com